



集合場所からカワウの島（木が白く映る）を見ていたら 100 羽ほどのカラスが群れながら東の方へ飛び去るのを見ました。その後総合教育センターに移動して観察しました。今回は愛知池や上鉾池に来ているはずの水鳥が少なく、ツグミなども見かけませんでした。



ソメイヨシノ冬芽

芽の下に葉痕が見えます。丸く見えるのが花芽です。



丸いプラタナス(モミジバズカケノキ)の実の向こうにハンテボク(チューリップの木)の実が見えます。丸い方の実は山伏が身につける鈴掛に似ていることからスズカケノキとつけられたそうです。



チャバネセセリ死体

コナラの葉の上で縁に爪をかけてじっとしていました。よく見ると翅が破れ、触角が垂れ気味です。ここで命を終えたようです。幼虫で冬をこします。



チャバネアオカメムシ死体

体長 10 ミリ。右下の写真は生きている姿。スギなどの球果やカキなどの果樹から汁を吸います。



ヌルデの冬芽

周りで口や耳のように見えるところは葉が落ちた痕です



スズガモ(教育センター) 写真を見直していたら

キンクロハジロ(右下)に似たカモがいました。キンクロハジロは黒白ですがスズガモは背中が灰色に見えます。羽音が鈴のように聞こえるそうです。



冬の蛾



ホソヒラタアブ

日だまりに現れました。成虫で越冬し、幼虫はアブラムシを食べます。



ナカオビアキナミシヤク

前翅の縁がふっくらと張りだし中ほどに褐色の帯があります。幼虫の食草はリョウブです。



ホシヒメホウジャク

夏と秋に現れ、花の蜜をホバリングしながら巧みに飛び回ります。幼虫の食草はヘクソカズラです。



ナンキンキノカワガ

ナンキンハゼで幼虫が見られ、木の皮に擬態した蛹を作ります。



ハリブトシリアゲアリ

アキニレの葉を裏返したら 7、8 匹がじっとしていました。



ガマの穂

上の方から種がほろほろとほどけてきて、風に乗って飛んでいきます。



イイギリの実 鳥が好むので

1 月まで持たないかもしれません



カンムリカイツブリの大群 観察会の翌日の愛知池。12月9日の昼頃、遠くに白いものが見えたので撮影したら、大群がいました。上の画像の鳥の数を数えたら 80 羽以上、この左にも右にもまだいたので 100 羽は超えています。カンムリはいつも通り来ていました。

植物 ノコンギク、ヒメジョオン、セイタカアワダチソウ、オオジシバリ、コセンダングサ、ガマ穂、実(カラスウリ、ツルウメモドキ、ヒヨドリジョウゴ、タンキリマメ、ノイバラ、プラタナス、ハンテンボク、ヤマハゼ、イイギリ、クロミノニシゴリ、ミヤマガマズミ、アキニレ)、ビワ、冬芽(ソメイヨシノ、ヤマハゼ、ヌルデ、コブシ、クスノキ)、 **昆虫・クモ等** チャバネセセリ、オオキノメイガ、チャバネフユエダシヤク、ナカオビアキナミシヤク、ナンキンキノカワガ、ニトベエダシヤク、ヒメカバナミシヤク?、ホシヒメホウジャク、ワモンノメイガ、ネグロミノガみの虫、オオカマキリ卵のう、ホソヒラタアブ、チャバネアオカメムシ死体、アブラムシ類・ススキ穂、クマゼミ羽化殻、ハリブトシリアゲアリ、ホソヒラタアブ、蜘蛛(ジョロウグモ多い、アシナガグモ、ヒラタグモ巣、シロカネイソウロウグモと卵のう、ナガコガネグモ卵のう)、 **鳥、その他** 愛知池(スズメ、ハシボソガラス群が舞う、ホシハジロ、キンクロハジロ、カンムリカイツブリ、オオバン、カワウ)、教育センター(コゲラ声、メジロ声、ヒヨドリ、キンクロハジロ、ホシハジロ、スズガモ、コガモ、カイツブリ)

次回1月12日(木) 午前9時30分 水資源機構・P前 雨天中止 参加費100円